



令和6年 9月 12日
第505号
新発田市立東豊小学校

ホームページ <http://toho.shibata.ed.jp>

見取る力～ハチの巣騒動～

校長 飯塚 進

9月の初めに、子どもたちがどんぐり山にあるハチの巣を発見してくれました。それは大変だと、私も探しに行きました。ところが見つけれないのです。次の日に子どもたちに詳しく聞いてからまた確認することにしました。

次の日には、早々に職員が見つけてくれました。なかなか大きなスズメバチの巣でした。そこは確かに私も昨日見たはずの木でした。昨日見つけれなかったことを反省しつつ、教育委員会に連絡し、専門業者の方に対応していただきました。子どもたちに被害がなかったことに安堵するとともに、教えてくれた子どもたちに感謝です。

「見る」と言えば、東豊小学校の今年度の職員研修のテーマの1つが、「見取る力をつけよう」です。私たちが考える「見取る」とは、「子どもの表情やつぶやき、ノートへの記述、発言など外に表れた事実」はもちろんですが、「子どもたちの心、つまり外からは分からない内面をも見る」ことを目指しています。子どもが言葉等で表現した背景、声なき声をも見取ることはかなり至難の技です。しかし、子どもを理解するためには、子どもの内面を想像し、理解しようと努力しなければならないと思っています。

ハチの巣の話に戻ります。私が見つめることができなかったのは、「見つけれないのではないか。」という気持ちで探していたからかもしれません。実は、昔から物を探していてもどこかあきらめの気持ちが強く、見つけれないことが多かったように思います。ところが、他の人が探すと見つかるというわけです。恥ずかしい話です。

「ある」と信じて、見つけようという強い意志があれば見つけられる。見ようとしなければ見えない。つまり「見取る力」は「見ようとする力」なのだと思います。

子どもを見取る力はなおさら重要です。子どもたち一人一人には、必ずよさがあります。すぐに分かるよさもあれば、内面的なよさもあります。「ある」と信じ、見つけようという強い意志をもち、見取る力を我々職員は高めていきたいと思っています。

2学期が始まりました。保護者、地域の皆様のお力添えをいただきながら、充実した教育活動が行えるよう精一杯取り組みます。どうぞよろしくお願いたします。